

こくさいこうりゅうせんたー

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.90 とよなか国際交流センター広報誌 2016年9月



「世界中が同じ月を見ている。そうやって世界はつながっている。」
 上田薫(大阪府立池田高校2年生)

九月号

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00)

9/10 (土) 10:00~16:00

とよなか国際交流フェスタ

センターで活動している登録団体のステージ発表や、世界の食べ物・飲み物販売、バザー、民族衣装体験、子どもコーナーなど。

入場無料!



9/17 (土) 10:30~12:30

女性のための哲学カフェ

「安心ってなんだろう?」

内容:大阪大学文学部学生・萩野彩香さんの進行で「安心」について、色や形で表現しながら考える。
定員:10人、先着順(要申込)
一時保育:有(9月13日(火)までに申し込み)

9/24 (土) 10:00~12:00

おまつり地球一周クラブ

~エジプトを楽しもう!

内容:エジプト出身のアブドさんと一緒にゲームや音楽を体験する。
対象:小中学生、20人(保護者同伴可)
先着順(要申込)



9/24 (土) 14:00~16:30

ブックトークinとよなか国際交流センター「家族写真をめぐる私達の歴史~在日朝鮮人、被差別部落、アイヌ、沖縄、外国人女性」

内容:同著の著者・皇甫康子さん、萩原弘子さん(大阪府立大学)ほか著者数名による語り。

定員:50人、先着順(要申込)

※終了後同会場で交流会有(参加費700円)

(※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです)

ご報告

全国在日外国人生徒交流会に 参加しました

8月5日・6日の2日間、東京都町田市にある大地沢青少年センターにて、全国から外国にルーツをもつ高校生が集う「全国在日外国人生徒交流会2016」が行われました。豊中出身の外国にルーツをもつ高校生1名が協会を通じて参加し、協会職員1名も同伴しました。

東京・神奈川を中心に、関西や中国地方、九州から高校生が集まり、0B・0Gや引率者を含めると100人余りで2日間を過ごしました。集まった高校生たちは班ごとに分かれて、夕食づくり（フィリピン、ベトナムなど参加するルーツの生徒がいる国のメニュー）やテーマにもとづく話し合いなどを実施しました。昨年度出会った全国の友人に会うのを楽しみにしている生徒もいて、久々の再開を懐かしんでいました。この場だからこそ、外国にルーツを持つ者同士だからこそ言える・共有できると思える話など、様々な想いを夜遅くまで語り合う生徒たちの様子が印象的でした。

翌日は、全国在日外国人教育研究集会の会場である国土館大学に移動し、生徒交流会の報告と集会に集まったおとなたちへのアピールを行いました。事前に生徒たち同士で行った班ごとのアピールから、2つの班が選ばれ「この場から社会を変えていきたい」「勇気をもって行動していきたい」など、堂々としたメッセージが伝えられました。



国土館大学でのアピールの様子

ご報告

「学習支援・サンプレイス」より～ 豊中まつりで踊ってきました！



市民ふれあい広場ステージでのダンスの様子

8月6日土曜日、うだるような暑さの屋下がり、豊島公園、ローズ球場の間近に設けられた市民ふれあい広場のステージで、「学習支援・サンプレイス」に通う子どもたちがダンス

を披露しました。

毎週日曜日に行われているサンプレイスでは、今年度より従来の活動に加えて、子どもたちによるダンスの練習も開始しました。年度初めは、教えてくれる人を探したり、練習の仕方を模索したり、大変な状況からスタートした子どもたちでしたが、自分たちで話し合いの場を設け「今何をしたいか」「どうしたいか」「何をすべきか」を出し合い、少しずつ、確実に前へ進み続けてきました。今回のダンスは豊中まつりに向けてボランティアにアドバイスをもらいながら、自分たちで振付けを考え、練習を続けてきました。

迎えた本番当日、うだるような暑さの屋下がり、豊島公園、ローズ球場の間近に設けられた市民ふれあい広場のステージの上には、子どもたちの笑顔がありました。

海外より



fromガーナ

「アペカカカ！」（最終回）

元協会職員の十田麻衣さんが、青年海外協力隊として2014年7月より西アフリカの国、ガーナで活動して、この度帰国しました。十田さんからの驚き、発見、感動たっぷりの便りの最終回をどうぞ！

とだま！！

時間通りに来る電車やバス、あるかないか聞かなくても安心して料理をオーダーできるレストラン、とてつもなく綺麗なトイレ…2年ぶりの日本に慣れたような慣れていないような…帰国して2か月ほどが経過しました。そんなコラム最終回では、日本に戻ってから驚いたこと、改めて考え直したことをお伝えします。

7月末に神奈川県相模原市にて日本中に動揺を与える事件が起きたことは、みなさんの記憶にも残っていらっしゃると思います。この事件に関する議論はここでは避けませんが、これを通して『安全』や『治安がいい』という概念について振り返りました。この事件は、わたしが帰国してから最も衝撃を受けた出来事のひとつです。

ガーナの首都では、外国人や富裕層のガーナ人を狙った窃盗事件が起きることもたまにあります。しかし、2年間ガーナで暮らして殺人事件が起きたという話は一度も耳にすることはありませんでした。それに比べ、帰国後2か月間で日本で起きた無差別殺人事件は数件あったと記憶しています。いったい何をもってして「日本は『安

全』全国」、「日本は『治安がいい国』と言えるのでしょうか？ガーナをはじめとする特にアフリカ地域の途上国では、実は強盗や殺人などよりも、交通事故と病気のリスクのほうが遥かに高いのです。交通事故は「運」としか言いようのない側面が強いように感じますが、病気は予防することが可能です。薬を服用したり、身体の状態を気にかけたりすれば病気にかかることは防げます。では、無差別に殺されてしまうような事態は、どう回避すればいいのでしょうか？日本でも、ガーナでも暮らした経験をもつわたしにとっては、無差別殺人が起きてしまう現状のほうが『安全でない』と感じてしまいます…。

日本に訪れたことがない人から「地震や津波が頻繁に起きる国で日本人はどうして生活しているの？」と疑問を投げられることも稀ではありません。中には「原爆の影響で木も草も生えていないんだろう？」と思込んでいる人も…。今はインターネットで行ったことも、見たこともない国や地域の情報を手に入れることが出来ています。自分の目で見て、肌で感じた事実以外

の、パソコンやスマートフォンを通じて得た情報だけを鵜呑みにしていることってありませんか？どんな、誰の、情報を信じるか。そしてその情報を基に、その事象をどのように捉えるか。すべては各人の判断に委ねられています。様々な人と関わり、話を聞き、どこかへ出かけているような体験をして…そんなことで自分が信じられる情報はどんどん精査されていくのでは、と考えています。そのため、これからできる限りいろいろな国や地域に足を運び、体験して、あらゆる人と関わられるようにしたいなど、日本に帰ってきてより強く考えるようになりました。

2年にわたりコラムを読んでいただき、ありがとうございました！またどこかの国から、その国や地域のリアルタイムな情報をお届けできたら嬉しいです！心の底から…あっぺかかか？



ガーナ人の大切なわたしの家族と帰れる家

(筆者左端)

ご報告

子ども・若者事業ボランティア 合同合宿@河内長野

8月17日(水)～18日(木)、子どもや若者に関わる事業で活動しているスタッフとボランティアがセンターを飛び出し、合宿をしてきました。道中、買い出しをしたり南河内地方のソウルフード「かすうどん」で腹ごしらえをした面々が辿り着いたのは河内長野市滝畑。緑豊かな山奥で、慣れない手つきで木炭に火をおこしてパーベキュー。食材を買いすぎた感はありませんでしたが、みんなで美味しくいただきました。夜も更けると川沿いのバンガローで話し合い。普段センターで活動している時とはまた違った雰囲気、みんなリラックスしながら今までの活動を振り返ったり、これからの活動をどうしていくのかなど、率直に語り合いました。翌日は沢登りの末辿り着いた滝の前でブルーシートを広げ、むせ返るようなマイナスイオンを全身に浴びながら記念撮影。その後はぶどう狩りで鈴なりのぶどうを食べたり、温泉で疲れを癒したりしながら充実した時間を過ごしました。



合宿メンバー

ご報告

おまつり地球一周クラブ・夏休み特別企画 「おめんをつくろう!」を開催しました

8月18日(木)、近隣在住の小学生たちがセンターに集まりました。最初に様々な国のお面がスライドで紹介され、みんなでその国を地図で探しました。「この顔ちょっとこわいな」「面白い顔!」など反応は様々。



おめん、製作中

いよいよメインのお面作り! 思い思いの設計図を描き、それをもとにプラスチックの心材に紙粘土を貼りつけ、形作っていきました。余った粘土で耳や角等をあしらひ、ウッドビーズやカラフルなボタンを埋め込むなど、個性豊かな作品が出来上がりました。色塗りは帰宅後のお楽しみです。

「楽しかった!」「お話し面白かった!」「夏休みの宿題がひとつできた!」と子どもたちは満足していたようです。

次回のおまつり地球一周クラブは9月24日(土)10～12時「エジプトを楽しもう!」です。エジプト出身の講師からお話しを聞いたり、一緒にエジプトのゲームや音楽を体験しませんか?



なんぢゃ・カンチャ・言わせてもらえば(第90回)

映画『さとにきたらええやん。』

皇甫康子(ふぁんぼ・かんぢゃ)

自転車に乗って町を走る学生服姿を追いかけるように、パンチのきいた歌声が響きます。商店街、パチンコ屋、一杯飲み屋と人間くさい西成のまちを突っ切り、到着したのが「子どもの里」です。年齢を問わずいろいろな背景を持った子どもたちが、遊んだり、勉強したり、食事を作ったりしています。そんな子どもたちの側にはいつも、館長の荘保共子さんの笑顔が寄り添っています。1977年、大阪市西成区の通称「釜ヶ崎」の子どもたちに安心して自由な遊び場を提供したいという思いから、「子どもの里」ははじまりました。

荘保さんと釜ヶ崎との出会いは、大学卒業後のボランティア活動でした。子どもの頃は、獣医だったお父さんの赴任先であるアフリカやインドを訪れていたこともあり、肌の色や文化の違う友だちいることがとても楽しかったと話されていました。両親の反対を押し切り、25歳で家出をして釜ヶ崎へ移り住みます。「日雇いもドヤもアプレも知らなかった私に、幼稚園の子が教えてくれました。ありのままの私でいいんだということも。釜ヶ崎に来て、私は自分が被っていた衣を何枚も脱いで、素の自分でいる気持ちよさを知りました」と、子どもたちから学んだことをたくさん話して下さった、二年前の学習会を思い出します。

2012年、大阪市が独自でやっていた無料利用できる「子どもの家事業」が廃止されました。それでも、知恵を出し合い、行動し、無料で障がいの有無や国籍の区別なく受け入れ続けています。

お話の通りの「こどもの里」を、映像として観ることができるというのは本当に幸せなことでした。職員の人々が子どもを語る、厳しく暖かい眼差しに心打たれ、子どもに向き合えない親の背中をさすりながら励ます姿に癒されます。周りの目を気にして学校にいけなくなる中学生は、弟に暴力を振るってしまいます。別居中の父親が殴るのも母親に原因があると押し付けますが、どんな理由があっても暴力を振るう人間が悪いと諷める職員の言葉にうなだれます。変わろうとしても思うようにならないという誰もが持つ弱さに支配されながら、路上生活をする人たちへの「夜回り」で、自分を取り戻していきます。

母親と生活できず、荘保さんを里親として育った高校生は、「子どもの里」で幼い子どもたちの世話をし、食事を作るのが楽しいと言います。荘保さんからミシンのかけ方も教えてもらい、家事はお手の物です。ある日、荘保さんが突然倒れたと聞き、不安で一杯の彼女の顔が映し出されます。手術後、回復した荘保さんに、お手製のケーキを食べてもらい安

心する顔。彼女と一緒にドキドキし、ほっとしました。高校を卒業し、巣立つ彼女に、「困ったことがあったら、一人でなやまないで、相談においで」とみんなが送りだします。

「こどもの里」のホームページには、しんどい人たちへ呼びかける、やさしくて、暖かい言葉が綴られています。読むだけで安心して穏やかな気持ちになります。子どもは親を選べません。どんな親にでも、守ってほしい、大切にしてほしいと期待します。その期待に応えられない親も、「さとにきたらええやん」とまると受け入れてくれます。

映画を観終わると、今まで出会った、子どもたちの顔がなだれ込んできました。この映画が初の監督となる重江良樹さんは、8年前から「こどもの里」にボランティアとして通い、2013年から二年間をかけて撮影しました。「こどもの里」の存続のために訴えても、何もできない無力な自分を感じたのが撮影を始める要因の一つとなったそうです。長い時間をかけて、関係性を築いた監督の努力は、素晴らしい映画となって実を結びました。たくさんの人たちに観てほしいです。

明るくなり、座席から立ち上がると、久しぶりの友人たちを見つけ、うれしくなりました。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業(以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるばづくりをしています。他…

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが出会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママづくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプ/マイク/必要な機材の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降式調理台2個、準備室(ロッカー)、洗面台、ホワイトボード)
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用する場合(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する場合の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

国際交流の活動を応援します!

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)

- ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
- ・センター内の掲示板で情報提供できます
- ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など

その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html

もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook! ほぼ毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始

アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)

地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター

E-mail: atoms@a.zaqq.jp http://www.a-atoms.info



●アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分